

令和 2 年度 第 1 回図書館協議会会議録

日時：令和 2 年 7 月 8 日（水）

15：00～16：30

場所：海津市文化センター

1F 視聴覚室 2

出席者：海津市図書館協議会委員 8 名

古橋徳昭、藤田佐喜子、中島由紀子、稲垣哲久、伴浩美、栗木紫衣、
山田洋司、山崎見歩

事務局：教育長、伊藤事務局長、水谷館長、伊藤課長補佐

欠席者：塚本明日香

1.開会あいさつ

- ・古橋会長の挨拶後、開会した。

2.議題

(1) 海津市図書館の現状について

- ・事務局が資料に基づき、図書館の現状について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・前回、海津図書館の開館時間の協議を行い、午後 7 時までが望ましいとの意見であった。
コロナの関係で、現在は午後 5 時の閉館とされているが、これは仕方ないと思う。
- ・予約図書配本サービスのことを南濃町の住民に広く PR してほしい。
- ・南濃町で希望する方が対象ではだめか。
→旧南濃図書館に徒歩等で来館されていた方を対象としたい。家庭の事情等様々な原因で来館が困難な方にも、柔軟に対応したい。

(2) 今後の海津市図書館のあり方について

- ・事務局が資料に基づき、今後の海津市図書館のあり方について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・平田図書館は、周辺に高齢者のための施設もあり、子どもから高齢者までが集まるよい施設であると思うので、ぜひ存続していただきたい。
- ・この厳しい財政状況の中で、縮小するのはやむを得ない。

- ・図書館の利用者数が少ないことが分かったし、図書館を一つにまとめても仕方ない。こども園のことを考慮しないでよいのなら、存続したほうが良いと思う。
- ・コロナ渦の状況において、自分がとても本を欲しているのか分かったので、ぜひ残して欲しい。
- ・図書館は、美術館等とは違い同じ人が繰り返し利用する施設である。近いところにあって徒歩等でアクセスしやすいことが理想である。
県内の市町村をみても複数館あるところは少ない。どちらかという恵まれていると思う。平田の人口の中心に近いところに、図書館はあって欲しい。
- ・海津図書館及び平田図書館には、それぞれ特色がある。平田図書館は、児童図書が充実していると思う。子どもたちのことを考慮すれば、存続して欲しい。
- ・平田図書館にてイベントを計画していたので、存続して欲しい。

(3) 読書のまち宣言（案）について

- ・事務局が資料に基づき、読書のまち宣言（案）について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・いつ宣言するのか。
→パブリックコメントや議決など手続きが必要であるので、日数を必要とする。
- ・宣言の主体は、市なのか市民なのかはつきりしない。
→主体は、市民であることを明確にしていく。
- ・案の作成は、今年度中を目標としたい。今年度中の完成は難しいかもしれない。

(4) その他について

- ・令和元年度に開催した協議会の議事録（概要）を配布し、内容を確認していただき、ご意見を後日いただきたい旨、依頼した。
本日開催の分は、作成後委員の皆さんにお送りし、確認をしていただくことを依頼した。

(閉会 16:30)